

ガス パツ チョ!

ガスでパツと明るくチョっといい未来
=エネルギーと未来のために、
東京ガスグループがめざすこと。=



東京ガス株式会社
財務部 IRグループマネージャー
坂田 一

目次

- 事業概要 . . . P. 3～ 8
- 天然ガスの特長 . . . P. 9～13
- 東京ガスグループがめざすこと . . . P.14～27
- 2020年に向けた各種指標ほか . . . P.28～40

事業概要

東京ガスのあゆみ



横浜ガス灯

～1885年～
創業



渋沢栄一

343件

～1945年～
ガス企業の統合



関東信越地区15社合併
供給エリアは一都八県に

1938年
100万件

～1969年～
液化天然ガス(LNG)
初輸入



1971年
400万件



アラスカLNG
売買調印式



天然ガス転換プロジェクト

～2007年～



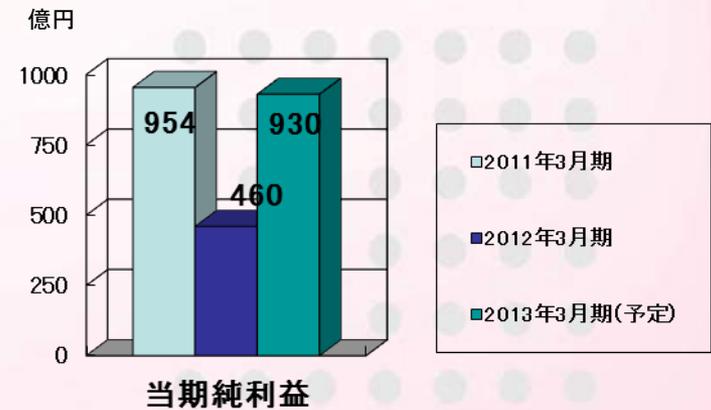
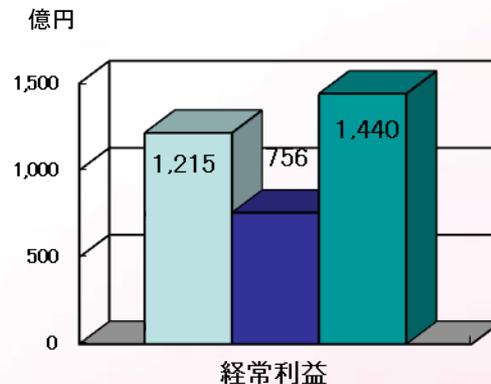
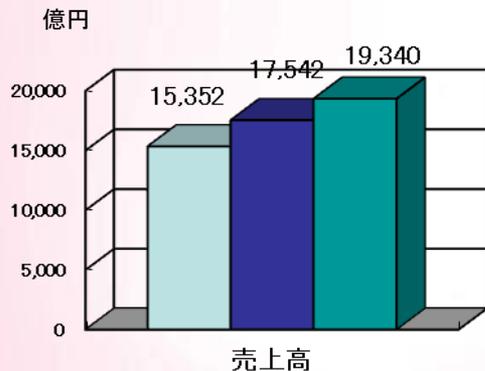
東京ガスのグループ概要と直近の業績

- ◆ 設立 1885年10月1日(お客さま数 343件)
- ◆ お客さま数 関東圏を中心とした1,086万件 ※11年度末
- ◆ 従業員 単体 7,774人、連結 16,528人 ※11年度末
- ◆ 資本金 1,418億円
- ◆ 経営理念 東京ガスグループは、天然ガスを中心とした「エネルギーフロンティア企業グループ」として、「快適な暮らしづくり」と「環境に優しい都市づくり」に貢献し、お客さま、株主の皆さま、社会から常に信頼を得て発展し続けていく。



代表取締役社長 岡本 毅

売上高は堅調に増加しています。原料費高騰に伴う料金単価への転嫁がずれこんだため2012年3月期は減益となりましたが、2013年3月期は大幅な増益となる見込みです。



東京ガスグループの供給エリア



東京ガスの特色

☆ 安定性

- 景気に左右されない規制分野（お客さま件数約1千万件）
- 関東圏は今後も人口流入を見込む
- 日本全国の都市ガス販売量の35%を供給（ただし、卸供給を除く）

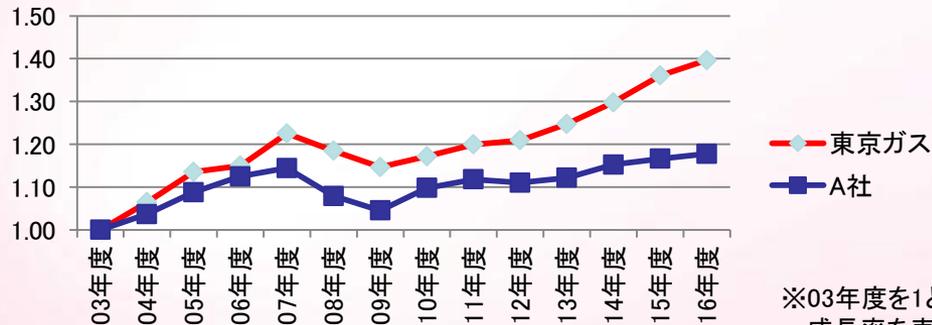
☆ 成長性 ~ LNGバリューチェーンの高度化~

- ① LNG調達からお客様に至る、事業価値向上（利益拡大・安定供給等）
- ② 事業エリアの拡大
 - ・恵まれた商圈 = 関東立地（日本のGDPの40%） + 国内・海外

☆ 明瞭な株主配分方針

- 総分配性向60%（※）と、確実な配当の実施

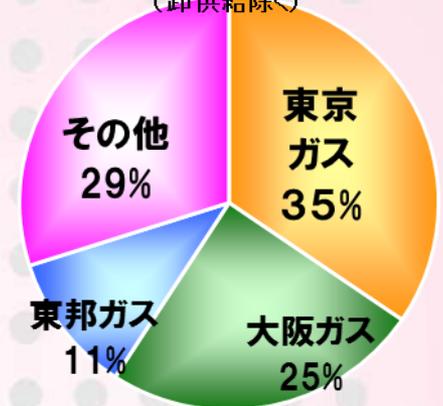
※総分配性向=(N年度の配当+(N+1)年度の自社株取得)/N年度の連結当期純利益
 当社のガス販売量推移(12年度以降は見通し)



※03年度を1とし
成長率を表示

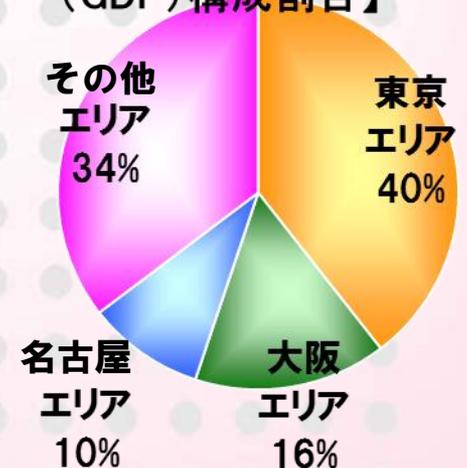
※当社調べ

【全国都市ガス販売量】
(卸供給除く)



出典: 2011年度日本ガス協会資料
より当社作成

【主要エリアの国内総生産
(GDP)構成割合】



出典: 内閣府「県民経済計算」 7
より当社作成

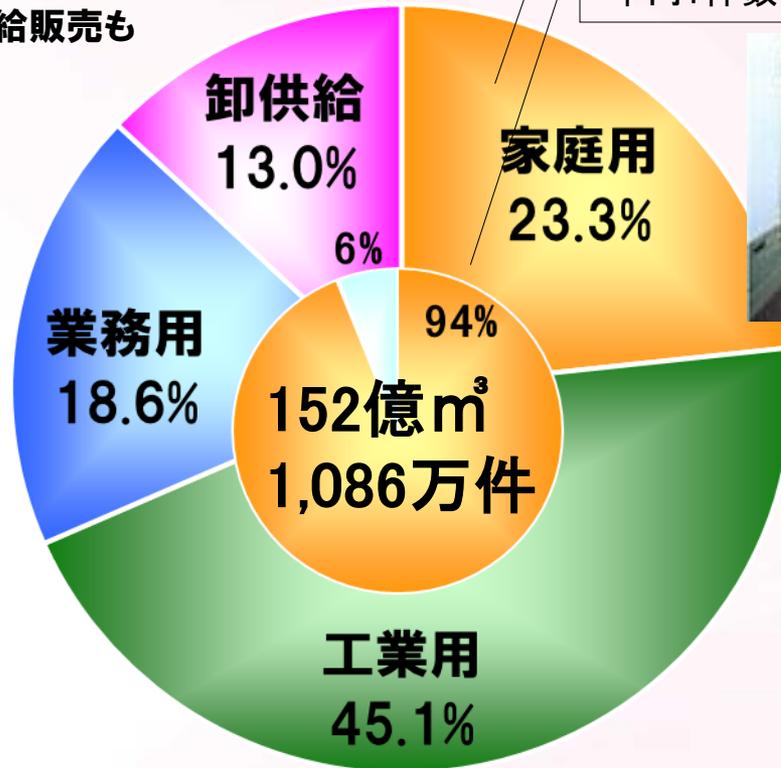
都市ガスの用途

～家庭用が安定性、工業用が成長性を担います～

地方の都市ガス事業者への
ローリー車などでの卸供給販売も



業務用では、ビル・ホテル・学校・
病院の空調、地域冷暖房等に



外円：販売量割合

※11年度末

中円：件数割合



家庭用では、
キッチン・床暖房・
浴室暖房乾燥機・
ミストサウナ等に

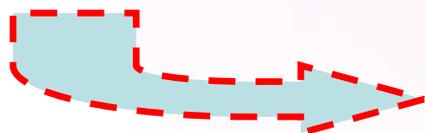


工業用では、鉄鋼・自動車・食品業界など、様々な業種の
工場のボイラー・コージェネレーション・発電用に

天然ガスの特長

天然ガスの環境優位性

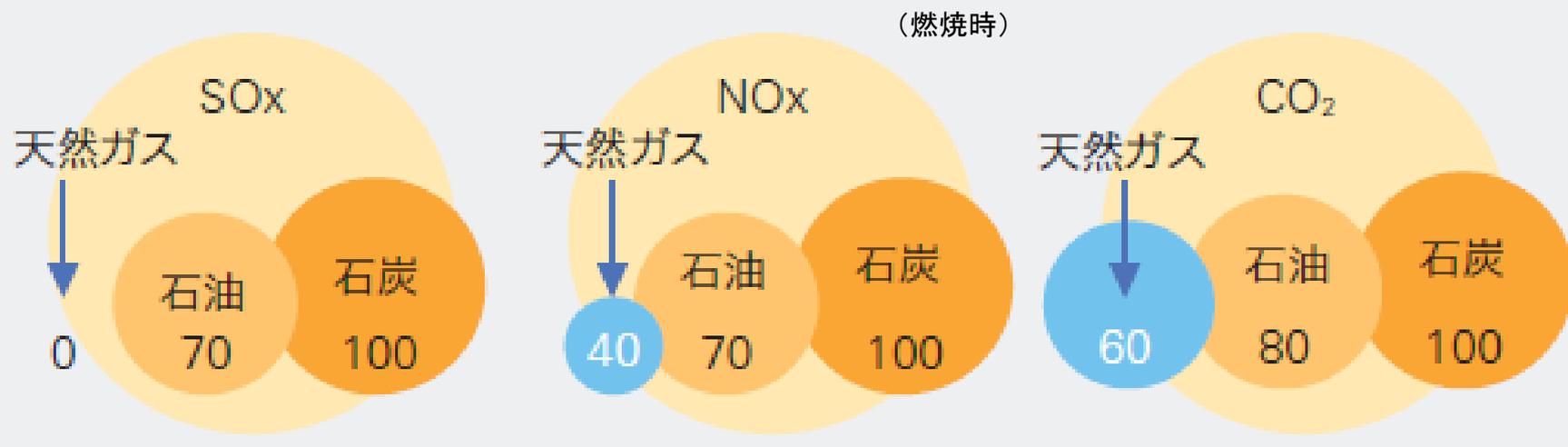
燃焼時のCO2等排出量が化石燃料で最も少ない



環境にやさしいエネルギー

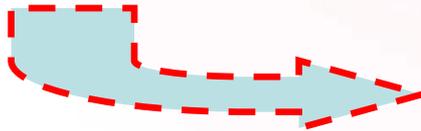
石炭を100とした場合の排出量比較

出典:「エネルギー白書
2009」資源エネルギー庁



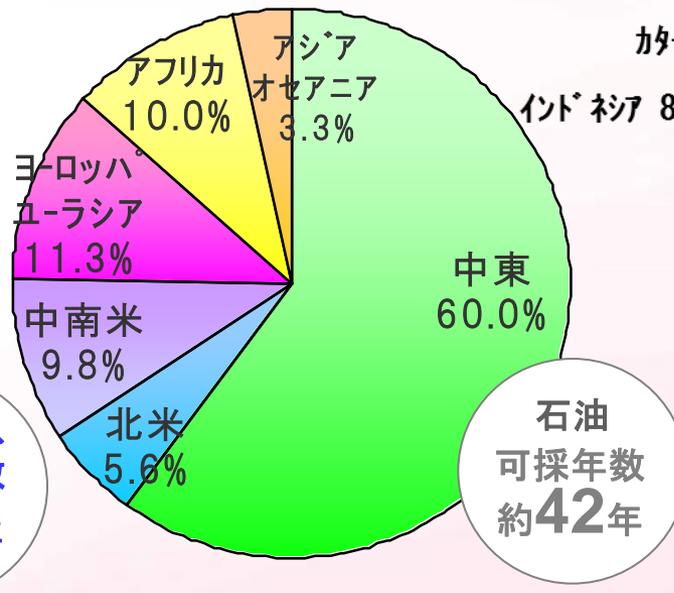
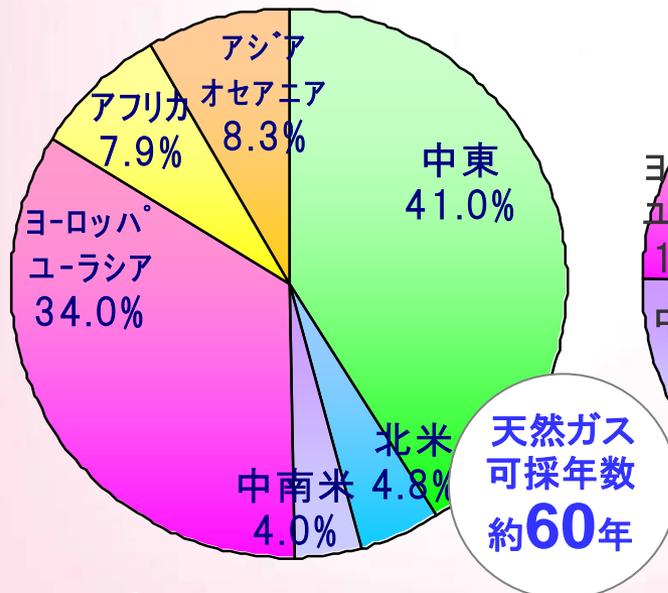
天然ガスの安定性

- ①世界各国に広く分布
- ②可採年数「60年」+ α = 200年？

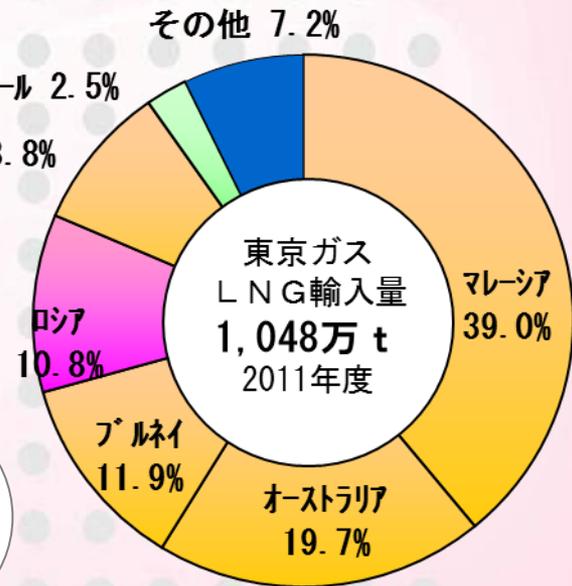


高い供給安定性

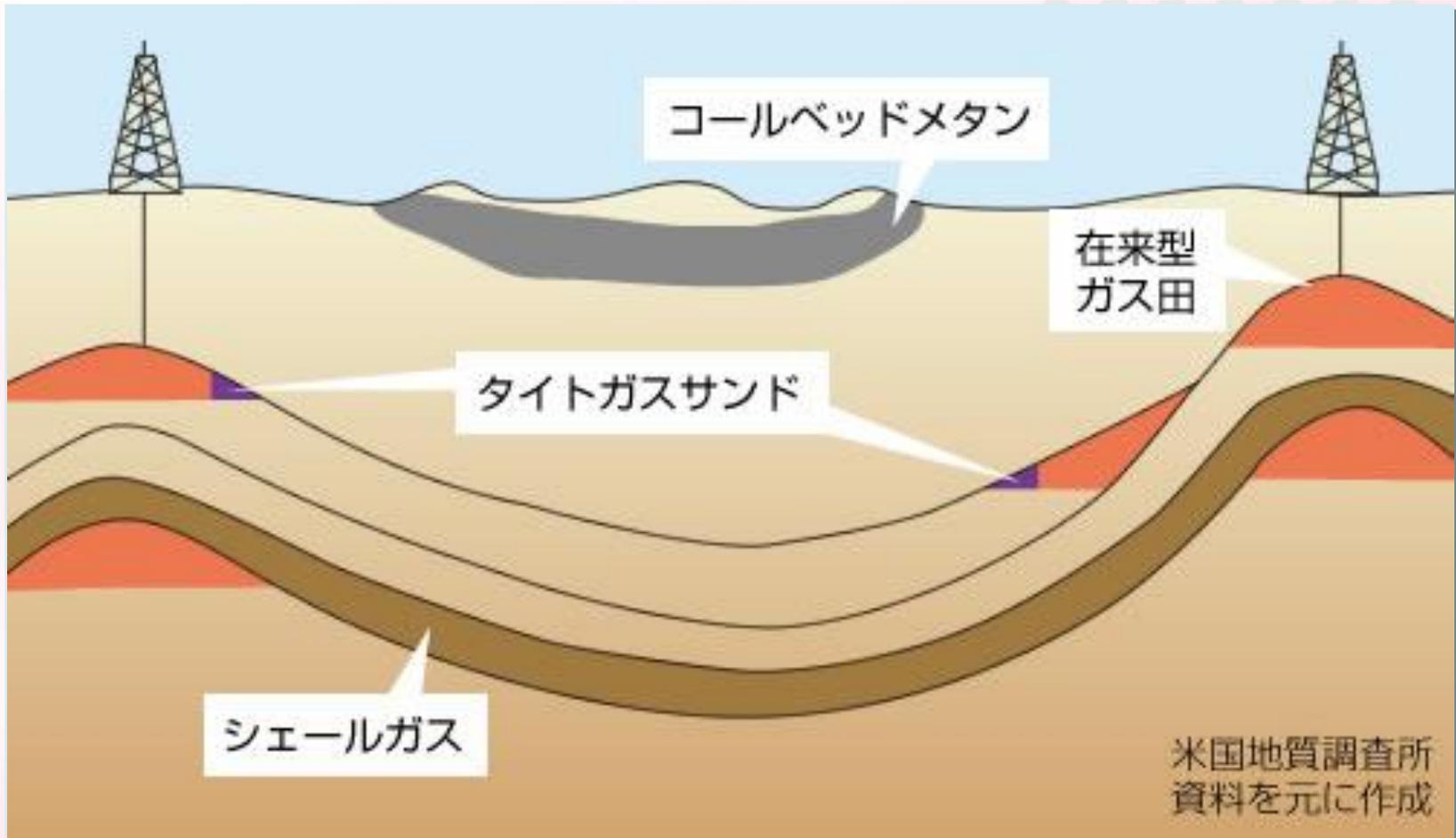
【天然ガスの地域別確認埋蔵量構成比(%)と可採年数(石油比較)】



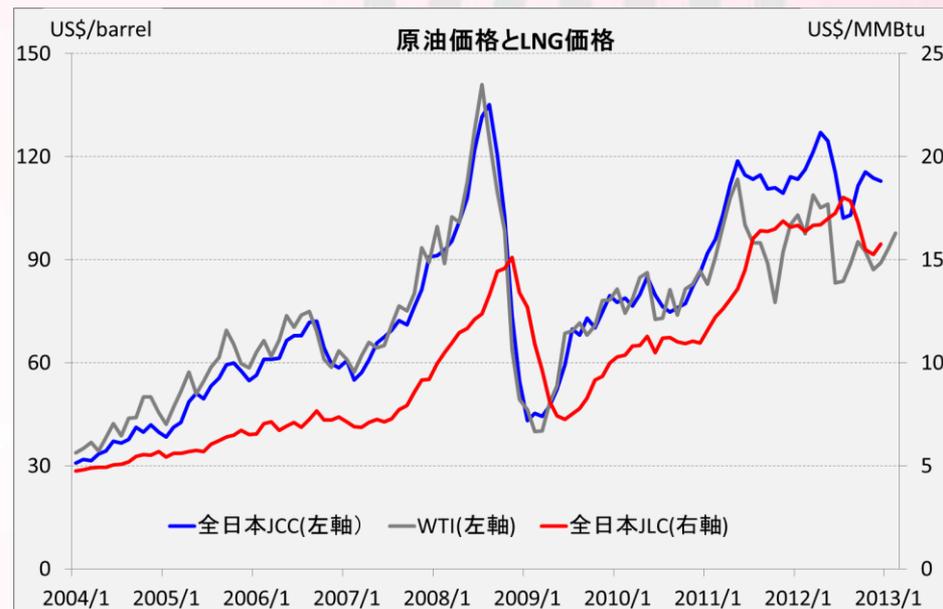
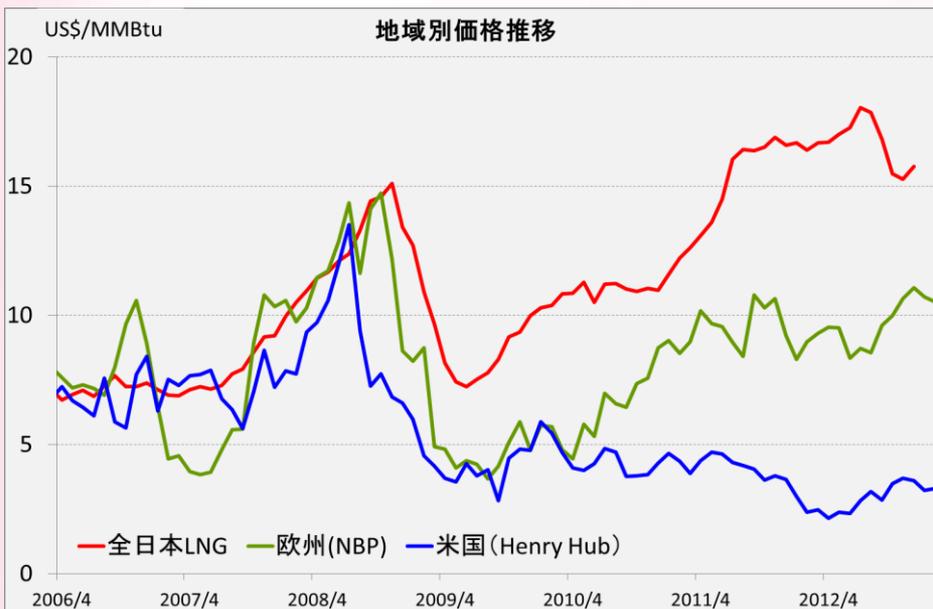
【東京ガスのLNG輸入先】



技術革新に伴い、シェールガスの採掘が低廉に
⇒「割高なアジアLNG是正」の可能性



LNGおよび原油価格市況



東京ガスグループがめざすこと。 チャレンジ2020ビジョン

(2011年11月15日発表)

チャレンジ2020ビジョンを発表(2011年11月15日)

=10年後の未来のために、東京ガスグループがめざすこと。=

「LNGバリューチェーンの高度化*」のためのアクションプラン

- (1)原料価格の低減を図るとともに、海外事業を拡大します。
- (2)需要開拓に向けた製造・供給インフラを整備します。
- (3)様々なニーズに合わせたエネルギーソリューションを提供します。

*LNGの調達から輸送、都市ガスの製造、供給、エネルギーソリューションの提供と続く一連の事業活動を東京ガスグループの力を結集して行うことにより、「付加価値を増大させる」とともに、「展開する事業エリアを拡大」していく。

「LNGバリューチェーンの高度化」イメージ



チャレンジ2020ビジョンの成長ドライバー

- 産業用ガス需要の獲得
- 電力事業の拡大
- 海外事業の拡大

アクションプラン

(1) 原料価格の低減と海外事業の拡大

(2) 需要開拓に向けた製造・供給インフラの整備

(3) 様々なニーズに合わせたエネルギーソリューションの提供



ダーウィンLNGプロジェクト
(バユ・ウダンガス田)



クイーンズランド・カーティス
LNGプロジェクト
(CBMガス処理プラント)

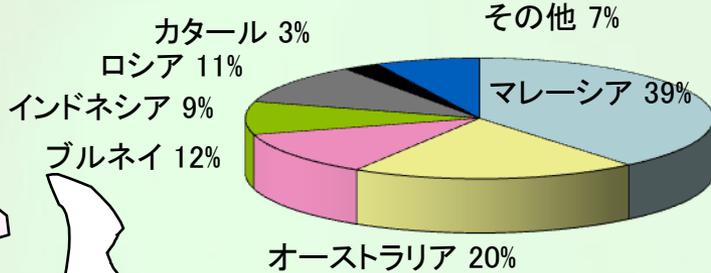


エネルギー ホライズン号

(1) 原料価格の低減と海外事業の拡大

～上流権益の取得により、原料調達力の強化～

価格指標＝原油リンク



東京ガスのLNG受入量
1,148万t (11年度)

- ★ 既存プロジェクト(契約数量)
- ★ 新規プロジェクト(契約数量)

サハリンⅡ (110万トン)

マレーシアⅠ (260万トン) / Ⅱ (80万トン) / Ⅲ (34万トン)

ブルネイ (124万トン)

インドネシア (92万トン)

カタール (35万トン)

イクシス (105万トン)
上流権益 1.575%

プルート (150～175万トン)
上流権益 5%

ゴーゴン (110万トン)
上流権益 1%

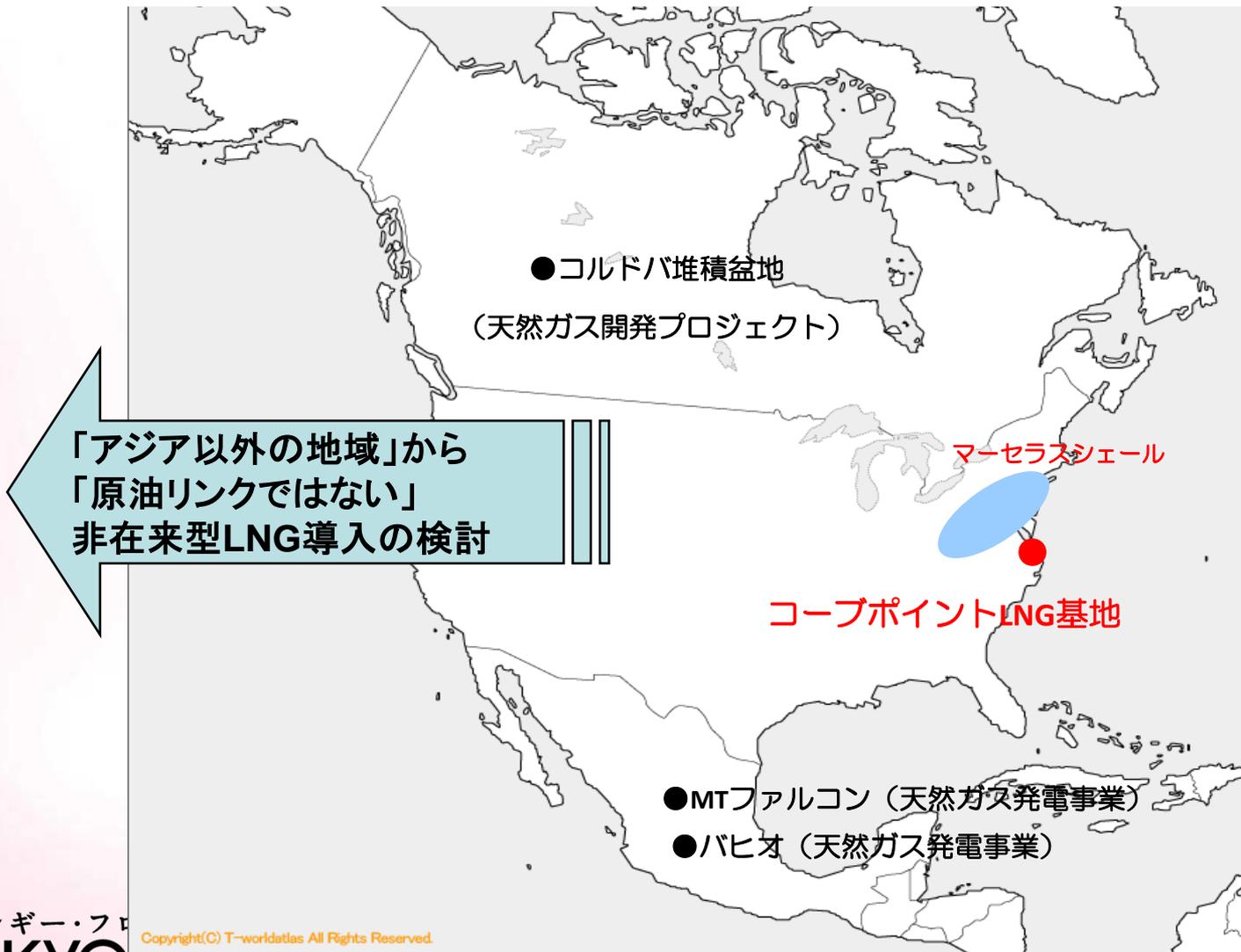
ダーウィン (100万トン) 上流権益 3.07%

クイーンズランド・カーティス
(120万トン) 上流権益 1.25%

西豪州 (53万トン) / 西豪州拡張 (107.3万トン)

(1) 原料価格の低減と海外事業の拡大 ～原料調達ソース・価格指標の多様化～

【北米大陸における東京ガスグループのシェールガスへの取り組み】



(1) 原料価格の低減と海外事業の拡大

～エネルギーサービスやエンジニアリング事業の海外展開～



現在の海外事業と
当社グループ海外拠点

- 海外事務所・現地法人
- 上流事業
- 中下流事業

アクションプラン

(1) 原料価格の低減と海外事業の拡大

(2) 需要開拓に向けた製造・供給インフラの整備

(3) 様々なニーズに合わせたエネルギーソリューションの提供

(2) 需要開拓に向けた製造・供給インフラの整備

～燃料転換による工業用ガス需要の獲得～

燃料転換によるCO2削減

燃焼時のCO2排出量 (石炭=100)



高度利用 (高効率化) によるCO2削減

高効率ガスシステムによる産業熱需要の省エネ・省CO2化



高性能工業炉
(リジネレーティブバーナ)



高性能ボイラ
(貫流ボイラ)

A重油から天然ガスへの燃料転換におけるCO2削減イメージ



アクションプラン

(1) 原料価格の低減と海外事業の拡大

(2) エネルギーを安全かつ安定的に供給

(3) 様々なニーズに合わせたエネルギーソリューションの提供

(3) 様々なニーズに合わせた エネルギーソリューションの提供

～電力事業を拡大～

- ・電力需給問題の解決に貢献するため、LNG調達力やLNG・パイプライン設備などを活かし、高効率コンバインドサイクルによる火力発電を拡大
〔200万kW→500万kW(最大)〕していきます。

扇島パワー
(80万kW、75%出資)



川崎天然ガス発電
(80万kW、49%出資)



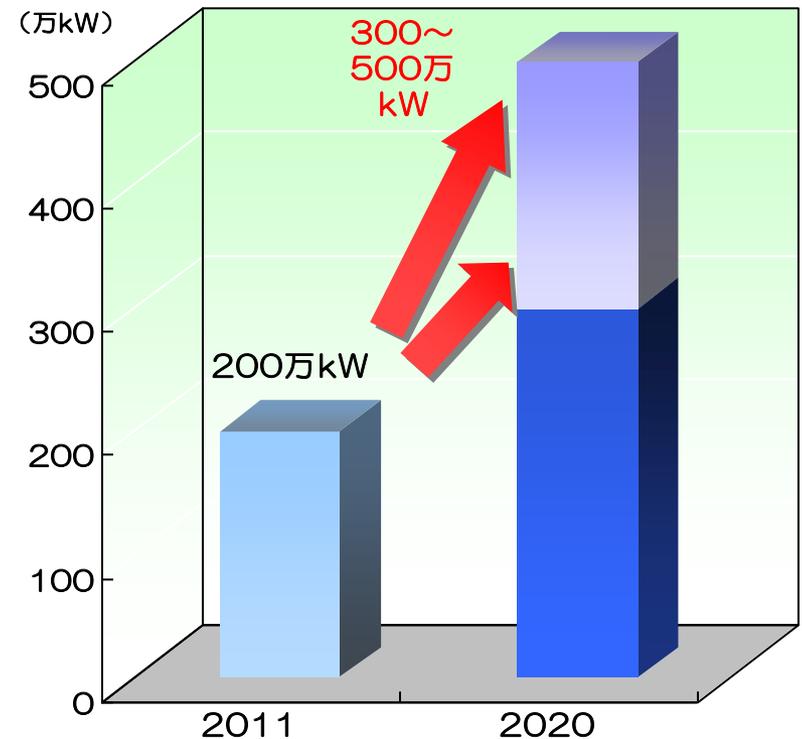
東京ガス横須賀パワー
(24万kW 75%出資)



東京ガスベイパワー
(10万kW 100%出資)



< 発電事業規模 (他社持分含む) >

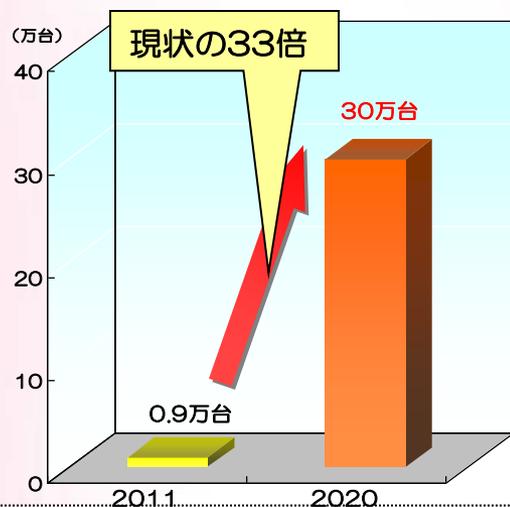


(3) 様々なニーズに合わせた エネルギーソリューションの提供

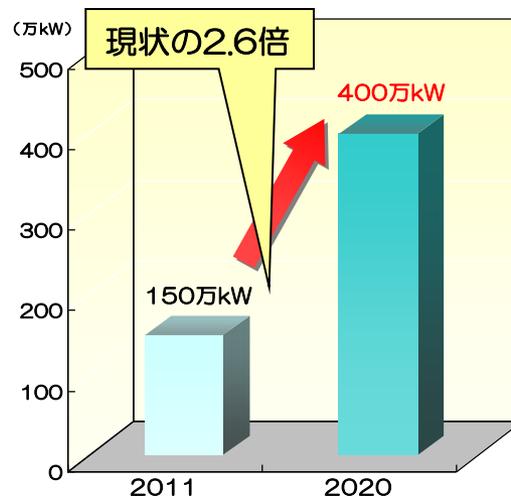
～天然ガスによる分散型エネルギーシステムを普及・拡大～

需要地で発電するため送電ロスがなく、また排熱も有効利用できる**分散型エネルギーシステム(コージェネレーション、エネファーム)**を積極的に普及・拡大していきます。

＜エネファーム（家庭用）＞



＜コージェネレーション（産業用・業務用）＞



(3) 様々なニーズに合わせた エネルギーソリューションの提供

～トピックス～

扇島パワーステーション3号機
(40万kW)の建設を決定・着手

着 手 : 2012年11月

完 成 : 2015年度中予定

扇島パワー (2013年時点)
(80万kW、75%出資)



新型エネファームの発売決定

価 格 : 199.5万円(希望小売価格)

販 売 : 2013年4月予定



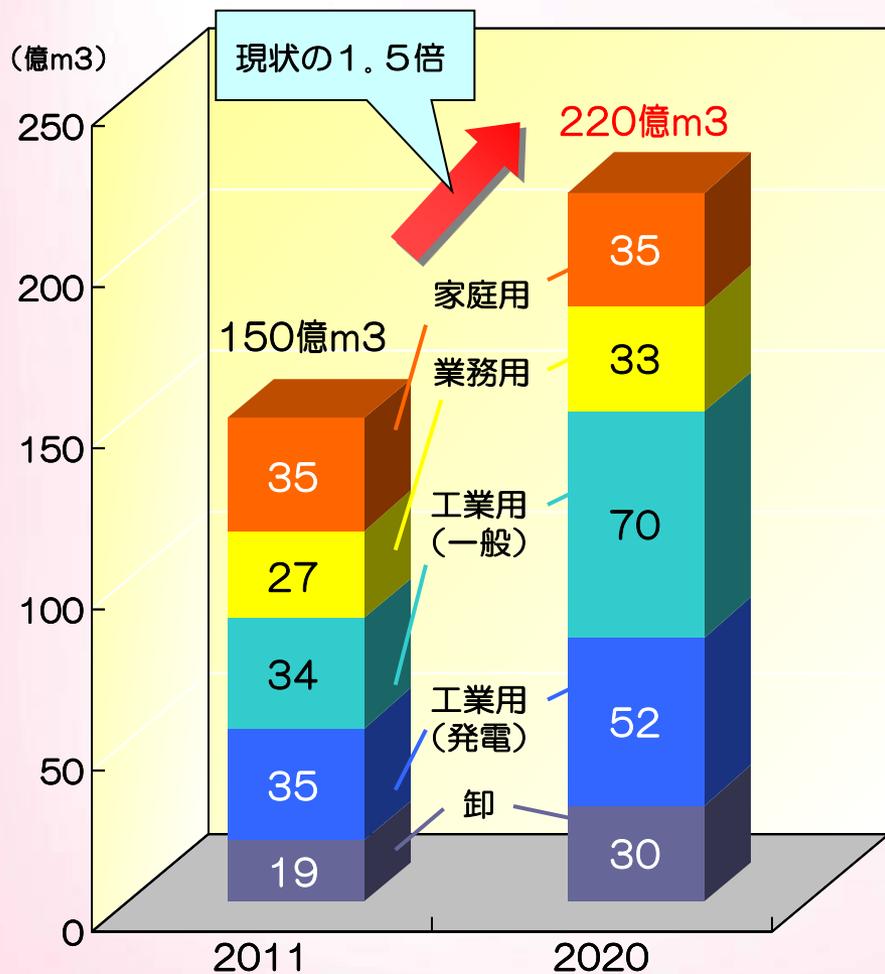
2020年に向けての各種指標

2020年に向けてのチャレンジ指標



ガス販売量

～工業用をドライバーに、販売量を拡大していきます。



＜用途別ガス販売量＞

(億m3)

	2011年度	2020年度	年平均伸び率
家庭用	35	35	0.0%
業務用	27	33	2.3%
工業用 (一般工業用)	34	70	8.4%
工業用 (発電専用)	35	52	4.5%
卸	19	30	5.2%
合計	150	220	4.3%

2020年に向けてのチャレンジ指標



天然ガスの普及・拡大指標

	現在の姿 (2011年度)	2020年の姿
ガス販売量 (LNG供給含む)	150億m ³ /年	220億m ³ /年
エネファーム (ストック)	0.9万台	30万台
コージェネレーション (ストック)	150万kW	400万kW
ガス空調 (ストック)	400万RT	570万RT
発電事業 (他社持分含む)	国内 200万kW 海外 330万kW	国内 300~500万kW 海外 500万kW

2020年に向けてのチャレンジ指標

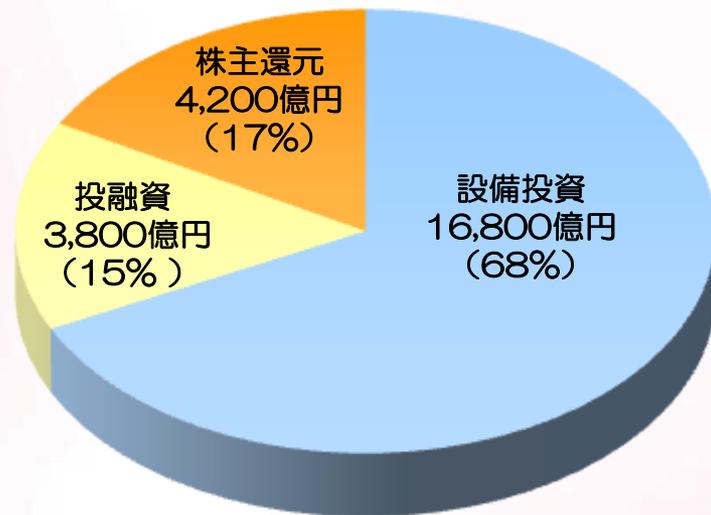


キャッシュフロー配分

～バランスの良いキャッシュフロー配分を目指します。

設備投資・投融資・株主還元

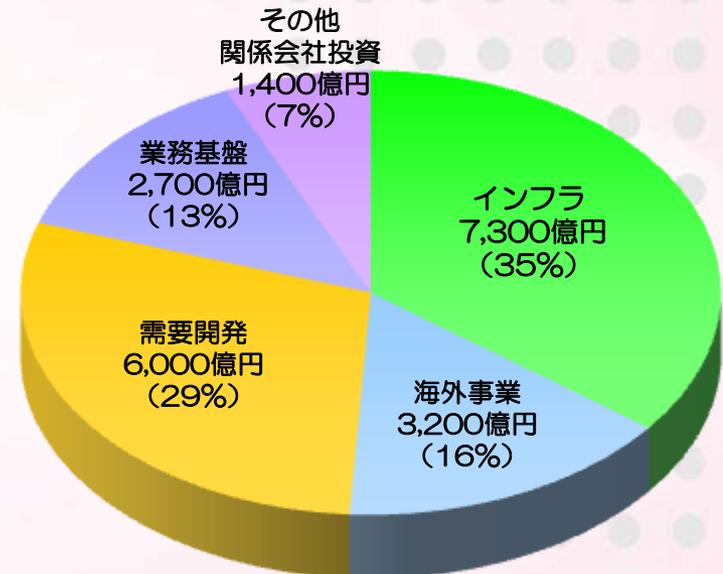
2012～2020年度合計：24,800億円程度



連結営業キャッシュフロー	22,400億円
外部借入（有利子負債）等	2,400億円
設備投資・投融資・株主還元	24,800億円

設備投資・投融資の用途

2012～2020年度合計：20,600億円程度
(約2,300億円/年)



(参考) 09～13中期経営計画における
設備投資・投融資：約1,800億円/年

2020年に向けてのチャレンジ指標



財務指標

～引き続き安全性が高い財務指標を目指していきます。

	現在の姿 (2009-2011年度平均)	2020年の姿
連結営業 キャッシュフロー	約2,100億円/年	2,500億円/年程度 (2012-2020年度計：22,400億円)
ROE	7.3%	8%程度
ROA	3.3%	4%程度
D/Eレシオ	0.7	0.8程度 (各年度)
総分配性向	60.6% (2009-2010年度平均)	60%程度

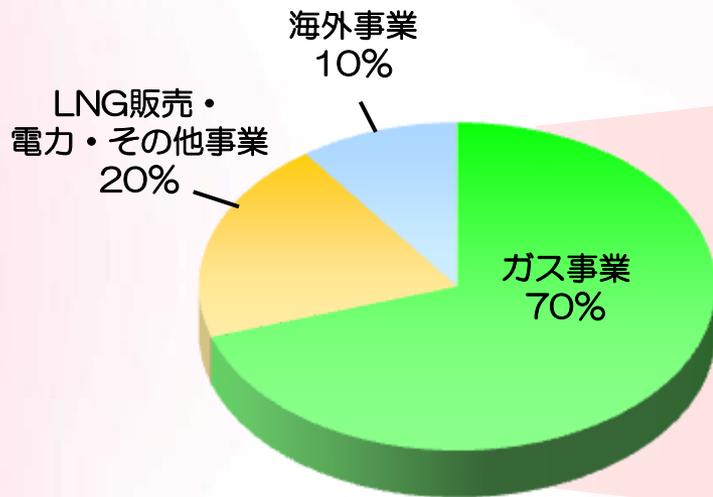
2020年に向けてのチャレンジ指標



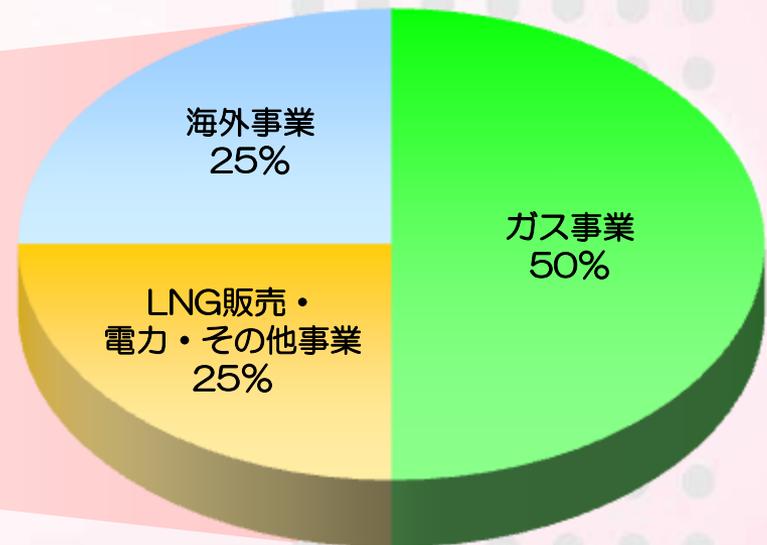
事業構造（連結純利益・事業別比率）

～連結純利益を拡大するとともに、海外事業の割合を高めていきます。

現在の姿
(2009—2011年度平均)



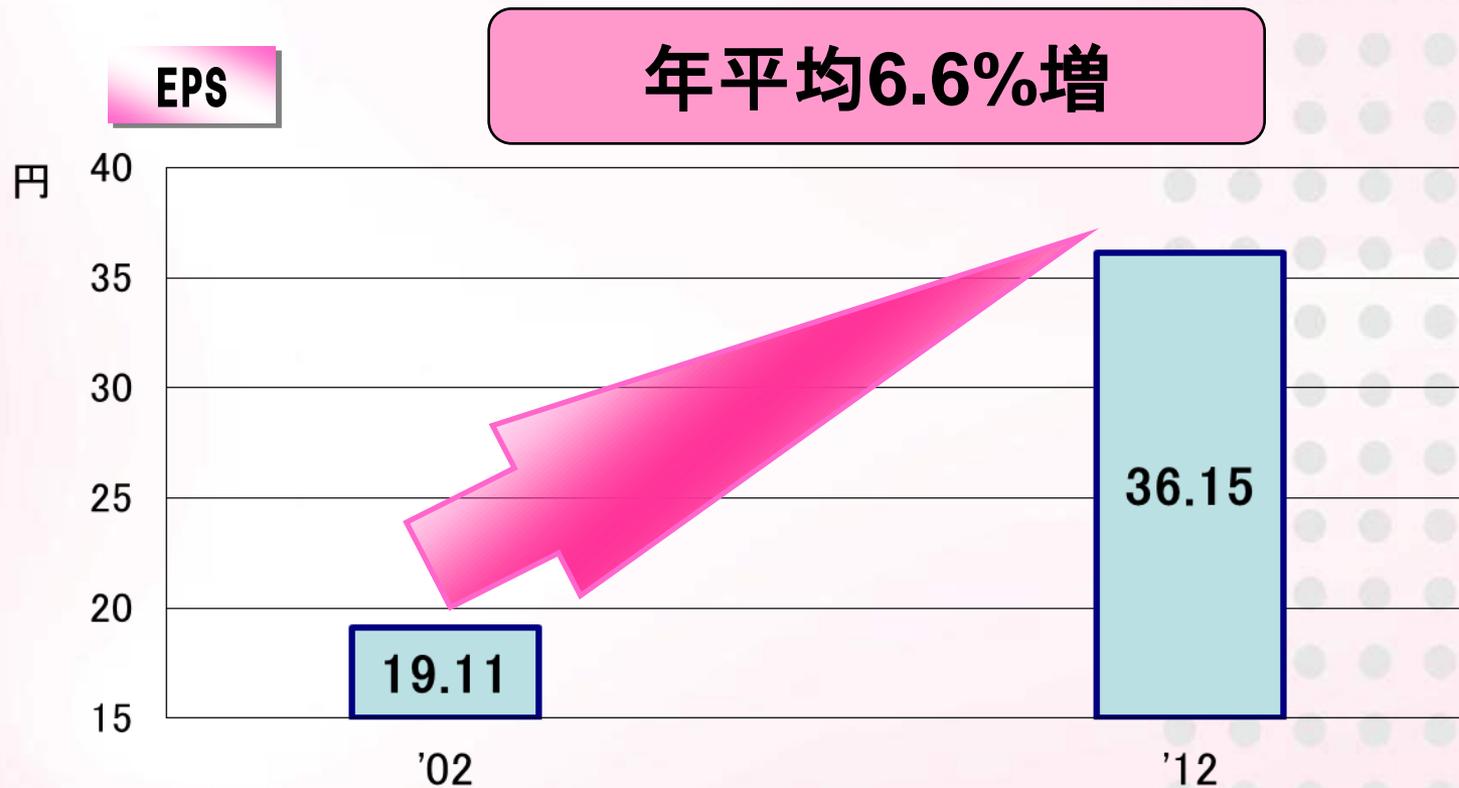
2020年の姿



当社のこれまでの成長

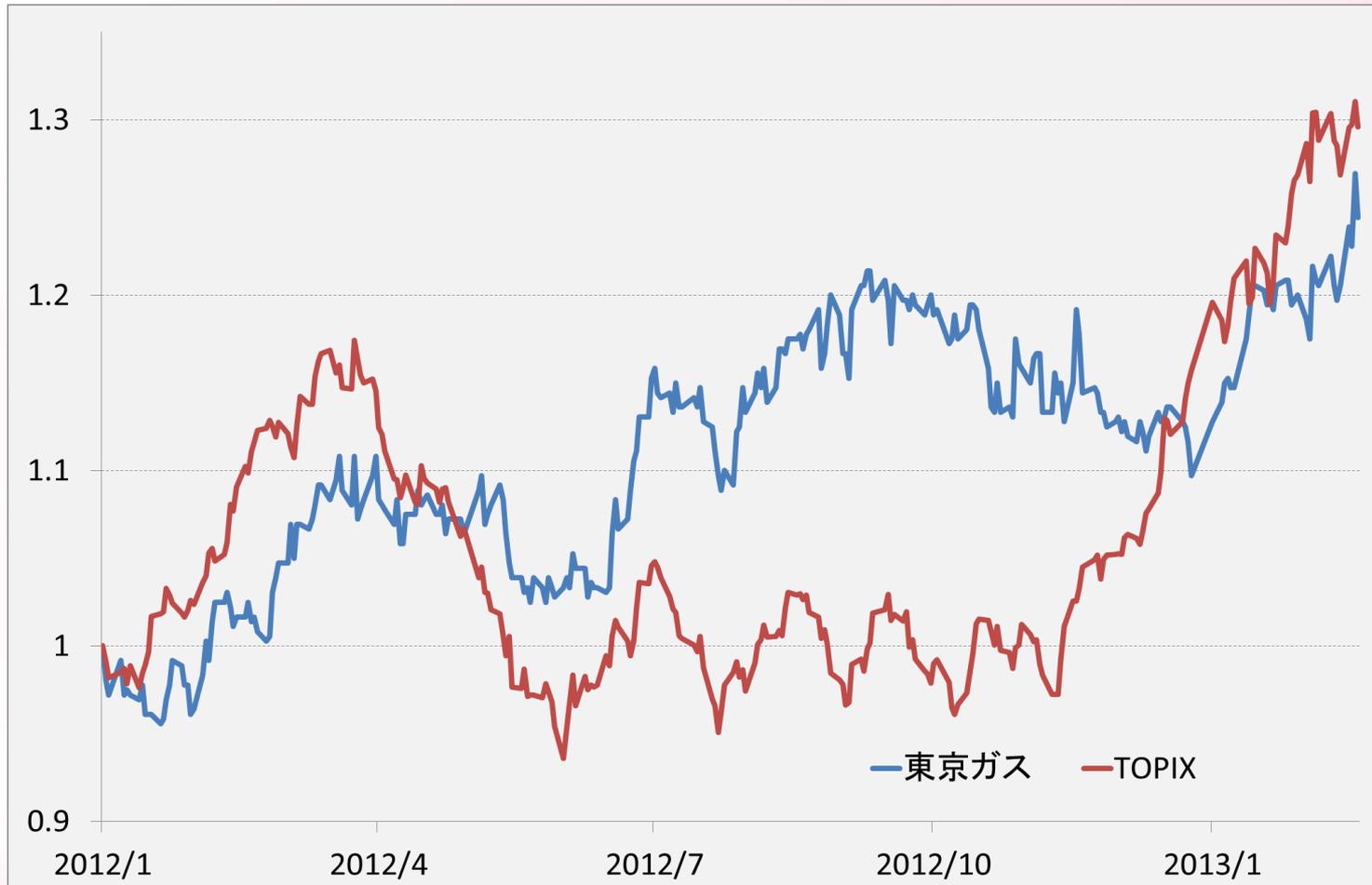
- EPS(1株当たり当期純利益)は10年間で大きく成長

19.11(2002年度) → 36.15(2012年度見通し) へ



当社の株価推移（過去1年間）

- 直近1年間で、約26%上昇。TOPIXも急上昇中。



株主さまへの還元① 配当

- 株主さまへの配当方針
安定的かつ、長期的増配を目指す（現行9円/株）。

緩やかで着実な増配

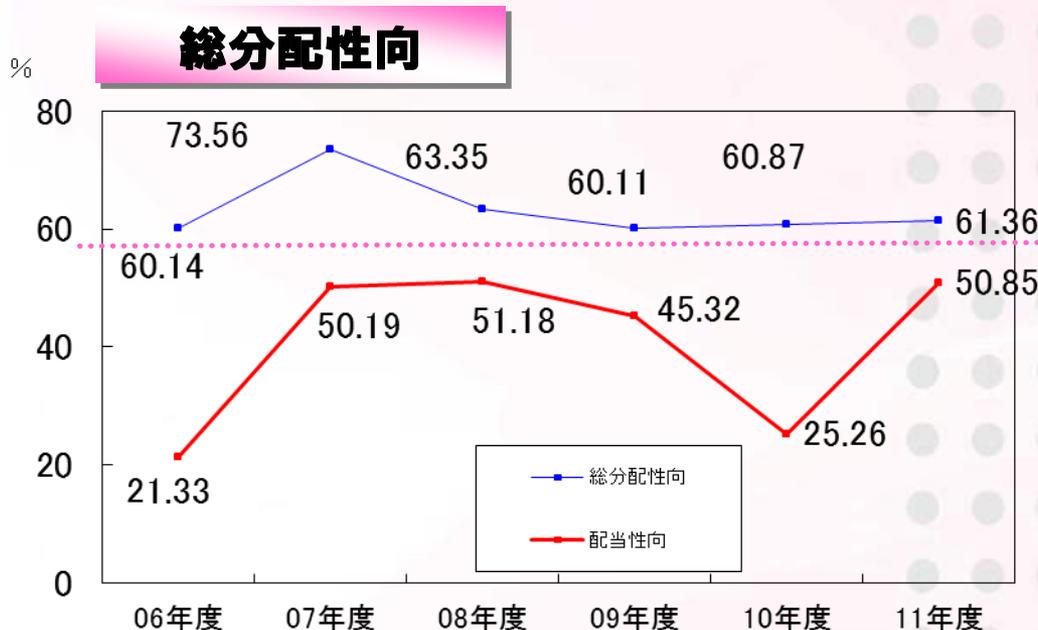




株主さまへの還元② 総分配性向

● 株主さまへの配分方針

総分配性向※（配当＋自社株買い）を連結当期純利益の6割とする。



【※11年度の総分配性向】

総分配性向		11年度配当額	+	12年度自社株取得額
61.4%	=	232億円		50億円
(ターゲット：6割)		10年度当期純利益 460億円		

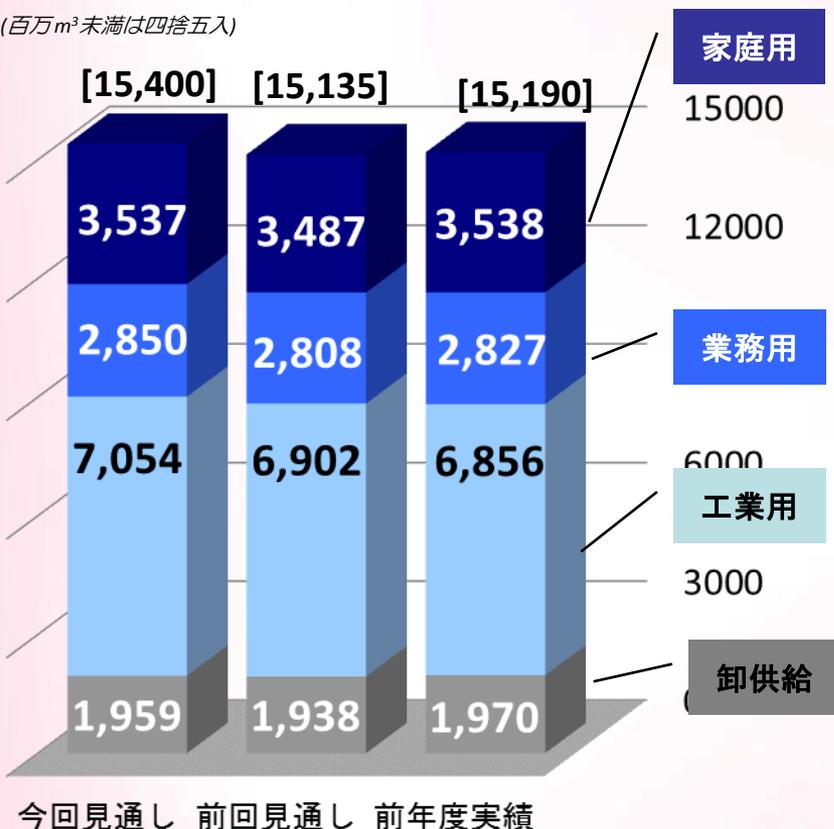
※ n年度総分配性向 = (n年度配当 + n+1年度自社株取得) ÷ n年度当期純利益

【1月31日発表】第3四半期決算発表の概要（通期見通し）（2012.4.1-2013.3.31）

＜連結ガス販売量見通し＞

百万m³, 45MJ

(百万m³未満は四捨五入)



＜連結主要見通し＞

(億円)

	2012年度	2011年度	増減	%
ガス販売量 (百万m ³ , 45MJ)	15,400	15,190	+210	+1.4
売上高	19,340	17,542	+1,798	+10.2
営業費用	17,920	16,771	+1,149	+6.9
営業利益	1,420	770	+650	+84.2
経常利益	1,440	756	+684	+90.4
当期純利益	930	460	+470	+101.9

＜主なポイント＞

1. 工業用(特に発電需要の増加)により、ガス販売量は前年実績を上回る見通し。
2. 原材料費の上昇に伴い、売上高、営業費用ともに前年実績を上回る見通し。
3. 売上高の増加が営業費用の増加を上回るため、対前年では大幅な増益になる見通し。



東京ガス株式情報と個人投資家向け情報発信 ～様々な媒体で、情報提供しています～

ENERGY FRONTIER TOKYO GAS

東京ガスサイトTOP ▶ ご家庭のお客さま ▶ 業務用・工業用のお客さま ▶ お客さま窓口 ▶ サイトマップ ▶ ENGLISH

東京ガスについて

会社情報TOP | 会社案内 | 株主・投資家向け情報 | 採用情報 | 取り組み・活動 | 資料調達 | プレスリリース

現在位置：東京ガスサイトTOP > 東京ガスについて > 株主・投資家向け情報

English IR | IRサイトマップ | IRお問い合わせ | 文字サイズ：小 | 中 | 大 | 印刷する

株主・投資家の皆さまへ

Investor Relations

株価情報 (20分遅れ) 東証1部 12/12 13:31 現在値 351 | 前日比 +4 | 株価チャート

株主・投資家向け情報

- 経営戦略・ビジョン
- コーポレートガバナンス
- 財務・業績情報
- IRイベント
- IRライブラリー
- 株式・社債情報
- Q&A
- IR企業情報

▶ 公告

エネルギーフロンティア企業グループとして
総合エネルギー事業のさらなる進化・発展を目指します。

- ▶ 社長メッセージ
- ▶ 2012年3月期 第2四半期決算発表
- ▶ 中期経営計画

代表取締役社長 岡本 毅

IR最新情報 RSS ▶ 一覧

- ▶ 2011/12/06 **リリース** イクスLNGプロジェクトからの液化天然ガス購入に関する契約の締結について
- ▶ 2011/11/29 **リリース** 原料費調整制度に基づく平成23年12月検針分のガス料金について
- ▶ 2011/11/15 **リリース** 平成23年10月ガス販売量実績

個人投資家の皆さまへ

TOOL BOX

- IRカレンダー
- 2011年11月15日 ▶ チャレンジ2000ビジョン発表
- 2011年11月14日 ▶ 第212期第2四半期報告書発行
- 2011年10月31日 ▶ 2012年3月期第2四半期決算発表
- 2011年8月22日 ▶ アニュアルレポート2011発行
- 2011年8月22日 ▶ インベスタースガイ2011発行

東京ガスIRホームページはこちら

http://www.tokyo-gas.co.jp/IR/ir_j.html

「東京ガス株主」で検索



さあ、一緒にどうぞ
「ガス・パツ・チョ！」

今後とも東京ガスを
よろしくお願いいたします！

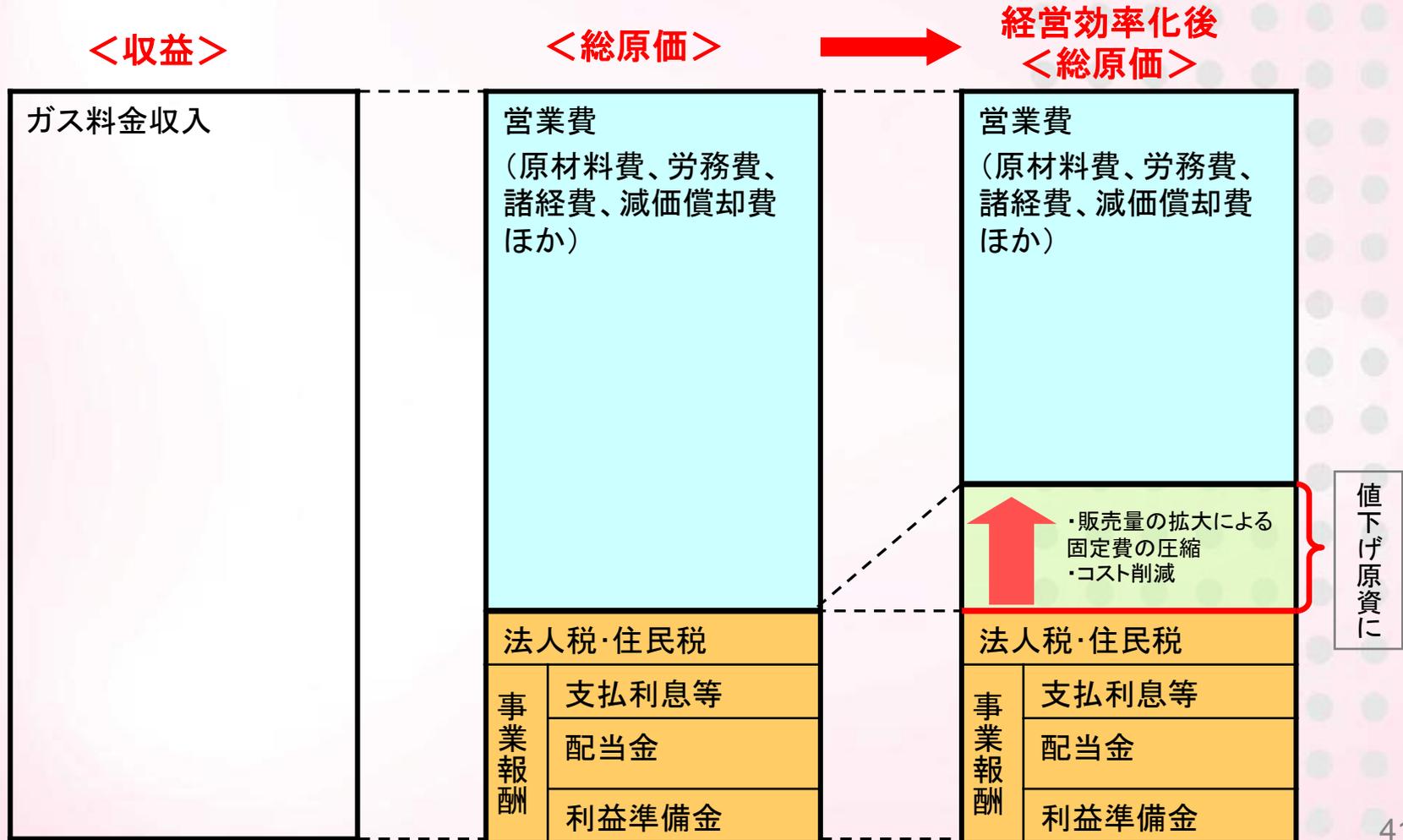


本資料は情報提供のみを目的としたものであり、弊社株式の購入や売却などを勧誘するものではありません。また、本資料に記載されている将来予測・業績予想は、現時点で入手可能な情報により当社が判断したもので、その正確性を保証するものではなく、今後予告無く変更されることがあります。

さまざまなリスク要因や不確実要素により、実際の業績や見通しは本資料の記述内容とは大きく異なる結果となる可能性があります。業績に影響を与える重要な要素には、日本経済の動向、原油価格・LNG価格の動向、気温の変動、円ドルの為替相場、ならびに急速な技術革新と規制緩和の進展への東京ガスの対応等があります。但し、業績に影響を及ぼす要素はこれらに限定されるものではありません。

ガス料金の原価について

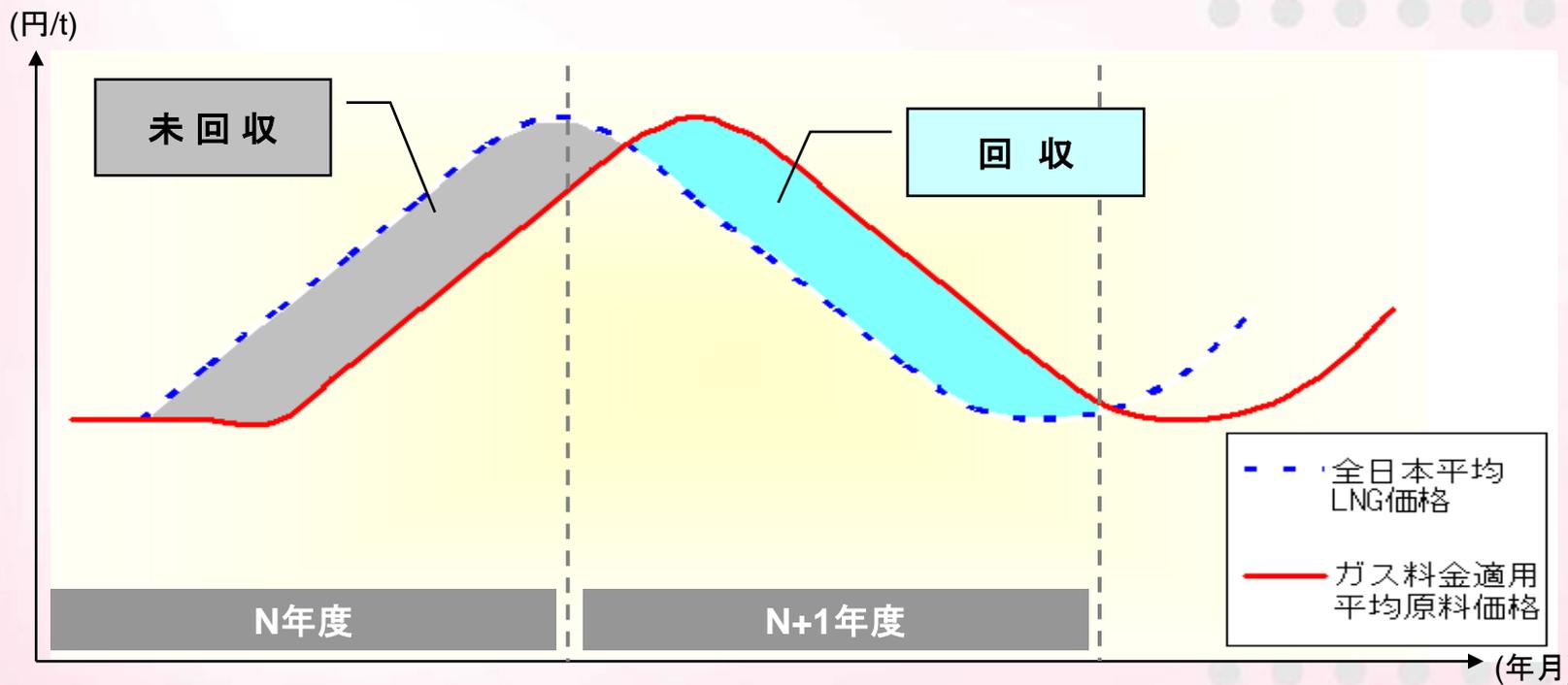
ガス料金の原価は、一定の計算期間を決め、その期間における原料費・人件費・修繕費等の必要適正な諸経費に事業報酬を加えて算定しています。



原料費調整制度のしくみ

- 貿易統計にもとづく3ヶ月の平均原料価格と、基準となる原料価格(基準平均原料価格)を比較し、その変動分について、あらかじめ定められた算定方法によりガス料金を調整します。
- 原料価格の3ヶ月平均値を、中2ヶ月の間隔をおいて、次の1ヶ月分のガス料金に反映します。

<料金スライドイメージ>



→ (年月) 42

【地震・津波等の災害対策】

- 地震時のガス復旧のさらなる早期化を実現します。
（被害甚大地区を除き、30日以内の復旧を目指します（阪神・淡路大震災クラス的首都直下地震を想定））※現状は55日以内の復旧
- 東日本大震災を踏まえたガス供給設備の地震・津波等の災害対策の強化（護岸液状化対策・防災ブロック*細分化等）のほか、都市型水害（ゲリラ豪雨等）時の浸水対策を実施します。

【停電対策】

- 自家発電設備増強等の基地の停電対策を強化します。

【保安の確保】

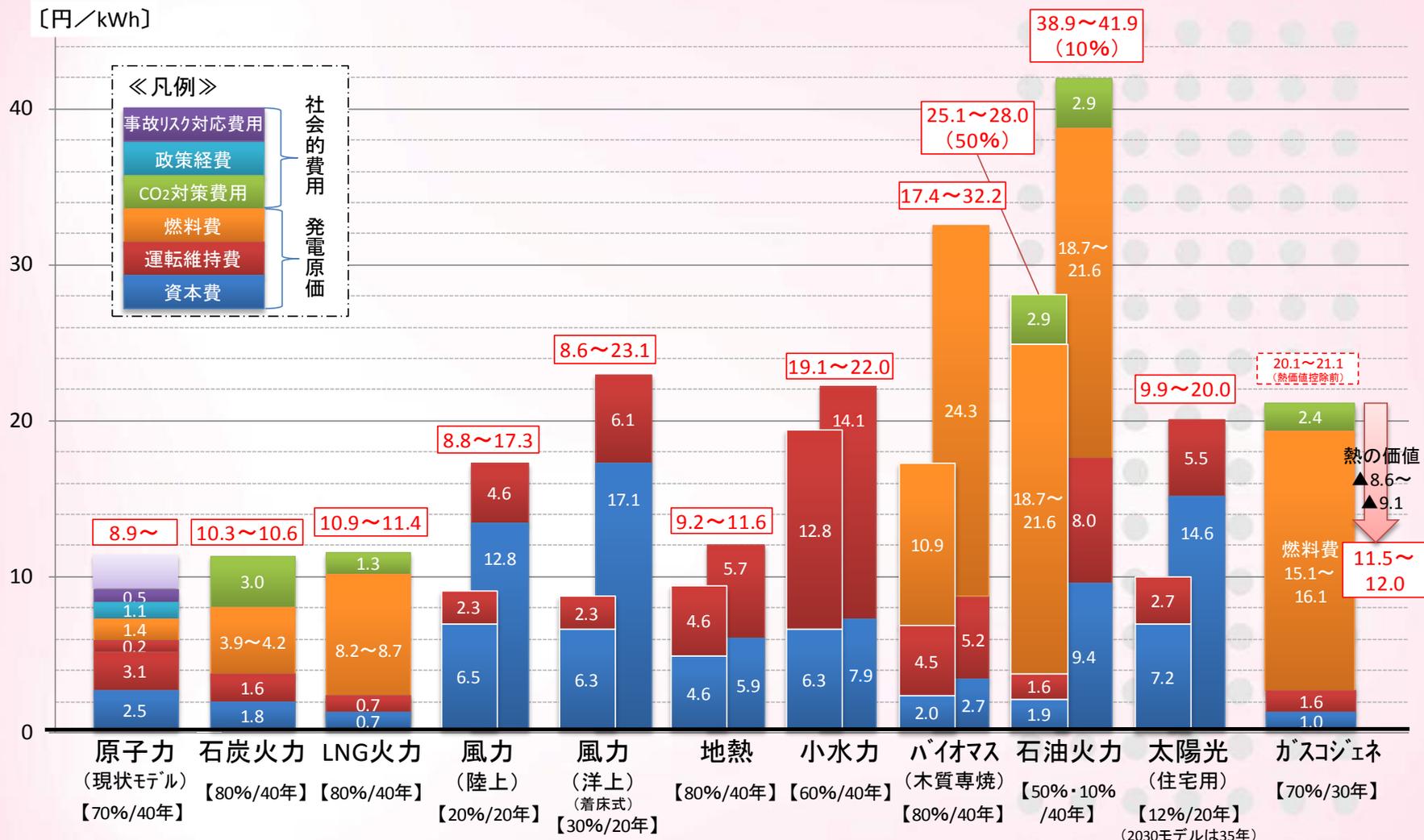
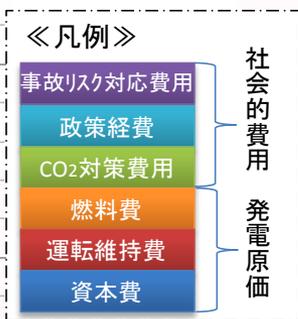
- 経年本支管等の設備対策、消費機器保安の推進等、保安確保のための対策を強化します。



*防災ブロック



[円/kWh]



熱の価値
▲8.6~
▲9.1

【設備利用率(%) / 稼働年数(年)】(割引率3%) (再生可能エネルギーは、下限(左)と上限(右)。石油火力は、設備利用率50%(左)と設備利用率10%(右)。)